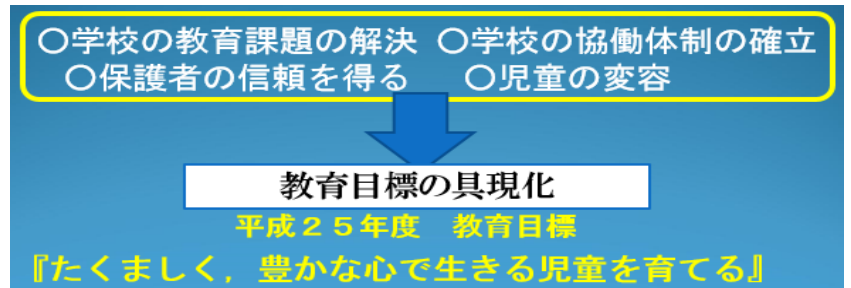
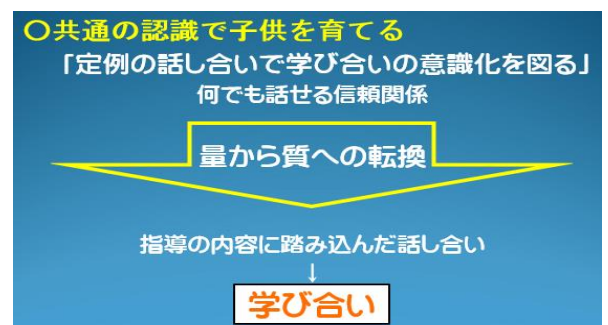


1 本校のOJT

- OJTは「教育目標の具現化を図るもの」と位置付ける。



- 学年会中心のOJTを進める。
学年会は、必要に応じて、どこでも気軽にできる「学び合い」の場である。



ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは教務主任。
- 学び合う人間関係づくりを目指す。
話し合いの様子から指導力向上や教育目標の具現化を意識した声かけを行う。
→ 校内ネットワークの形成へ

学び合いの意識化

- 毎日がOJTと意識する。
学年主任のリーダーシップで、互いの持ち味を生かした学び合いを進める。
校務運営の効率化を図り、更に、担当者の力量向上を目指す学び合いを目指す。
- 教育活動改善シートを活用し、目標と評価の一体化を意識する。
OJTを意識した学年・学級経営を進める。
→ 教育活動改善シートによりOJTを可視化し、意識化を図る。
実践的指導力・・・ 授業力の向上（授業研究の日常化）による学力向上を目指す。
校務運営力・・・ 校務分掌（指導部会等）の推進による教育活動の活性化を目指す。